

東京都文京区立汐見小学校



# 別居の父学校で焼身死亡

## 無理心中？小3次男重体

東京・文京区

23日午前10時半頃、東京都文京区千駄木の区立汐見小学校校庭で、近くに住む会社員の男(49)が、野球の練習をしていた同小3年の次男(9)を校舎脇に連れ出し、携行缶に入った灯油のような液体を自ら体にかけて火をつけた。火は次男にも燃え移り、2人は病院に運ばれたが、男は同日夜死亡し、次男はやけどを負って意識不明の重体。警視庁駒込署は男が無理心中を図ったとみて殺人未遂容疑で調べている。

発表によると、男は2010年9月頃から、妻(40)、次男と別居していた。離婚調停中で、妻は「夫と次男の面会は制限されている」と説明している。男が復縁を望んだこともあったが、不調に終わったという。

男は昨年5月24日、妻子が暮らす台東区の住宅を突然訪れ、次男を連れていくとして妻に止められた。妻はこの直後、同庁上野署に「子どもを会いたい」

と別居中の夫が家や学校に来て、子どもが怖がついて」と相談し、同署は妻と連絡を取りながら住宅周辺のパトロールを始めた。同署によると、男が再び接近する様子がないことから、昨年12月に妻の承諾を得て、保護対策を終了していたという。

現場は東京メトロ千代田線千駄木駅の南西約300メートルにあるマンションや民家に囲まれた小学校。男は以前、次男が所属する少年野球チームの監督をしていた。男と同じマンションに住む女性は「以前は息子と熱心にキャッチボールをする姿を見たが、最近の暮らしぶりは分からない」と話した。

「助けて。助けて」男児が叫び声。汐見小に隣接するアパートに住む男性(52)は、爆発音を聞いて部屋から飛び出した。駆けつけると、校庭で男が倒れた状態で燃え、そばで衣服の燃えている男児が「助けて。助けて」と叫びながら走っていた。少年野球の関係者が燃えている服をはぎ取ろうとしたり、じょうろで水をかけた。男は「助けて。助けて」と叫びながら走っていた。少年野球の関係者が燃えている服をはぎ取ろうとしたり、じょうろで水をかけた。男は「助けて。助けて」と叫びながら走っていた。



男が火を付けた現場付近を調べる捜査員ら(23日午後0時25分、東京都文京区の汐見小で、本社へりから)＝小林武仁撮影



を守ってくれ』と言われた  
こともあって様子がおかし  
たという。

## 面会巡るトラブル増加

離婚を巡る夫婦間の争いに未成年の子が巻き込まれるケースが急増している。

厚生労働省によると、未

成年の子を持つ夫婦の離婚は昨年、約13万7000件だった。件数は減少傾向にあるが、別居する親が子どもとの面会を求める調停はこの10年で3倍に増えた。

しかも、調停が成立しても面会が実現するとは限らない。離婚後、子の親権をとるのは8割が母親で、これに納得しない父親が子どもを奪い返そうとした刑事事件が度々発生。今月14日には、栃木県内の元妻宅から子ども5人を誘拐したとして千葉県浦安市の男(33)が逮捕されている。

争いから子どもを守ろう

と、昨年4月に改正民法が施行され、未成年の子を持つ夫婦が離婚する際、親子の面会や養育費の分担を事前に取り決めるよう定められた。ただ、関係がこじれ

た夫婦間の合意は難しく、自治体などによる支援態勢の充実が急務となっている。